

第十條 委員長の委員中より二名を事務組合員
納税の共同組合員事務管理セシム
第十一條 出納簿は金銭出納の明細を記載する
上筆算の法を以て之を記し、かつ、出納簿に
支出金五百圓以上十圓以下の金額を記し、
承認する事
第十二條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十三條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

第十四條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十五條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十六條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十七條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

臨時費徴収法

組合員	徴収額
一等	千五百圓
二等	千五百圓
三等	千五百圓
四等	千五百圓
五等	千五百圓
六等	千五百圓
七等	千五百圓
八等	千五百圓
九等	千五百圓
十等	千五百圓

臨時費徴収法
一、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
二、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
三、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

市代理店員資格試験合格者名簿

氏名	資格
甲生一等	村本 榮七
乙生一等	吉川 廣吉
丙生一等	前原 孝之
丁生一等	羽田 金三郎
戊生一等	長谷川 一馬
己生一等	三木 民治
庚生一等	山本 秀三郎
辛生一等	吉田 慶太郎
壬生一等	鹿野 喜一郎
癸生一等	高木 喜次郎

市代理店員資格試験合格者名簿
一、合格者名簿
二、合格者名簿
三、合格者名簿
四、合格者名簿
五、合格者名簿
六、合格者名簿
七、合格者名簿
八、合格者名簿
九、合格者名簿
十、合格者名簿

漂白法
一、漂白法
二、漂白法
三、漂白法
四、漂白法
五、漂白法
六、漂白法
七、漂白法
八、漂白法
九、漂白法
十、漂白法

漂白法
一、漂白法
二、漂白法
三、漂白法
四、漂白法
五、漂白法
六、漂白法
七、漂白法
八、漂白法
九、漂白法
十、漂白法

第十四條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十五條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十六條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十七條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

第十四條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十五條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十六條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
第十七條 委員長の事務組合員は、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

臨時費徴収法

組合員	徴収額
一等	千五百圓
二等	千五百圓
三等	千五百圓
四等	千五百圓
五等	千五百圓
六等	千五百圓
七等	千五百圓
八等	千五百圓
九等	千五百圓
十等	千五百圓

臨時費徴収法
一、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
二、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事
三、組合員は、臨時費を徴収するに、事務組合員
の支出金ハ、一時假借支出トシ、後ハ
承認する事

市代理店員資格試験合格者名簿

氏名	資格
甲生一等	村本 榮七
乙生一等	吉川 廣吉
丙生一等	前原 孝之
丁生一等	羽田 金三郎
戊生一等	長谷川 一馬
己生一等	三木 民治
庚生一等	山本 秀三郎
辛生一等	吉田 慶太郎
壬生一等	鹿野 喜一郎
癸生一等	高木 喜次郎

市代理店員資格試験合格者名簿
一、合格者名簿
二、合格者名簿
三、合格者名簿
四、合格者名簿
五、合格者名簿
六、合格者名簿
七、合格者名簿
八、合格者名簿
九、合格者名簿
十、合格者名簿

漂白法
一、漂白法
二、漂白法
三、漂白法
四、漂白法
五、漂白法
六、漂白法
七、漂白法
八、漂白法
九、漂白法
十、漂白法

漂白法
一、漂白法
二、漂白法
三、漂白法
四、漂白法
五、漂白法
六、漂白法
七、漂白法
八、漂白法
九、漂白法
十、漂白法

公
示

組長 木村

全北全
井
峰青
全全全

[illegible]

赤井運	酒井佐一郎	山下竹太郎	武田太郎	宇田裕藏	竹内武	大西新太郎	池田秀吉	原田吉吉	日置太助	藤智忠雄	渡邊肇一	阪本嘉平	土谷茂久	清田吉吉	前原卯一	井上初太郎	駒井小次郎	山田高太郎	岩田武高	武内三吉	藤井昇	中崎明	東確	寅若米次郎
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

其三郎
圭一
菊之助
徳次郎
長之助
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全
全

秋第十六條ニヨリ雇傭契約ヲ
二十五日
都築物同業組合
組長 木村勘兵衛
金五郎職工 田梨市太郎
博三全 奥田末吉
白井廣次郎

[illegible]

同 三番ノ十
壹合貳勺
同 三番ノ十二
六拾四坪五合四勺
買價壹坪百五拾九圓

報

技會 五月一日午前十一時
彰那郡第十二回徒弟競技會
に當日主なる來賓は市長代
都府商工課長、商業會議所松
業學校長、其他新聞記者、組
まるや式順左の如し

長開會の詞
の審査報告
褒賞狀授與
會頭代理の副賞授與
商業會議所會頭の告詞
挨拶
福本源四郎の答辭

兄弟競技會を開催せるに出品總
として其成績概して佳良なりと
あるを認む而して之が審査を
限數に應じ之を五部に分ち
賞する事左の如し

一人 二等賞 二人
二人 二等賞 二人
二人 二等賞 二人

爲又ハ其ノ備付アルモ貼付見
決定ノ適否ヲ判定シ能ハザル
ノ備付及試験成績ノ見本貼付
外合格及不合格ノ決定事由
ルヲ以テ之レガ記入ヲ怠ラザ
ルヲ之レヲ行フモ其ノ検査決
ハ誠アル所アリ如斯ハ所願
惜ムベキコトニ付注意ヲ拂
テ
時日ヲ經過セルモ拘ラズ色
變色シテ不合格品ト認ムル外
見ルモ場合ナカラス、現在
於テハ日光試験ハ之レヲ行ハ
品ヲ見出スハ餘儀ナキ次第ナ
品位ヲ損ズルノミナラズ、本
ハハ、廣アルヲ以テ可及的日
ノ撰擇ニ留意スベキ様當業者
ニ依リ之レヲ見ルニ毎月殆シ
ノ概ニ向少カザルガ如シ
監督監視ノ際此點ニ付テハ充
分ナルモ如斯支部ニ於テハ檢
ハレタル缺點ヲ見ルノミニ止
ルコトニ努メラレタレ
及簡易ノ検査承認工場ノ検査
被検査ヲ行ヒ得ルモ往々ニ
定ノ一割以上ニ達セズ、之
ルノミナラズ之レガ検査ノ
ニ行ハル、ノ弊ナキヤニ見
憾ノ至リニ付規定ノ勵行ニ
ハレタレ又若シ被検査ヲ行
場ニ於テ下検査ヲ行ヒ撰別
等外合格品又ハ不合格ノ偶
見シタル場合ニ於テハ忌憚
リ厳密ナル検査ヲ行フ方針

十三支部ニ依テハ検査員ニシテ往々検査規定ノ
變更其他検査ニ關スル本部ヨリノ通達等ハ不審
内ノ向アリ殊ニ各區ニ亘リ検査出張所ヲ有スル
所ニ於テ如上ノ弊アルヤニ認ム検査統一上支障
不渺リ以テ今後如斯事ナキ様周知方注意セラレ
タシ
十四検査成績月報ノ記入方往々ニシテ粗漏ニ涉
リ且違算多キモノアリ、又提出日限ヲ過ルモ送
付ナク然カモ毎月電報ヲ以テ督促スルノ已ムヲ
得ザル所モ之レ有、爲ニ全體ノ統計作製ヲ遲延
セシメ不便不渺リ以テ今後遲滞ナキ様速達方注
意セラレタシ
○精練廢液のアルカリ回収法 アルカリ煮に依
釜に入れて石灰と共に煮沸し少量の漂白粉を添
加す此場合漂白粉の量は液の黃色を除去するに
止り之以上酸化を進行せしめざる程度とす之に
少量の亞硫酸又は酸性亞硫酸を添加すれば色相
は消滅し還元作用を増す以上混合酸を沈降せし
め泥狀石灰渣及有機物を沈澱せしむれば原液の
八四％のアルカリを原價格の三分の一にて回収
するを得べし。
○糊置部徒弟競技會 同部は今年十五回即ち滿
十五五年になるを以て創設紀念を兼ね來十五日午
後二時より褒賞授與式を兼ね盛大なる紀念祝賀
會を開催するの希圖を以て役員は専ら奔走中に
あり
○各部總會 形彫部張物部糊置部紋上書部染物部
の各部は初回以來總會を開き現今の經濟界に
對する取引狀態に鑑み工賃の件に就き協議を凝
らしたるか何れも當分現狀維持を以てし諸物價

振替
大阪 五五七八九番

箴子張木
 刺繡台布海苔
 販賣店
 三村光藏
 振替 五五七八九番
 大坂
 發行所 京都市盤座通竹屋町下ル
 京都染物同業組合事務所

京都染物同業組合月報

又又は多量の人工染料を交ぜるものは... 第一工程 人造染料を有に對し下に記載する...

此の物は二種の目的に使用せらるる... 第二工程 結晶酒石酸二十四匁...

二汗に對する用堅牢度試験法... 一般に染色堅牢度試験法は其の方法を...

用材土佐産 友仙染器具一式 建築請負 本店 瀧澤商店 工場 價安別特

公示 左記ノ職工... 京都染物同業組合 組長 木村勘兵衛...

Table with multiple columns listing members and their affiliations, including names like 友仙染部員, 組長 木村勘兵衛, etc.

公示第十五號 左記ノ組合定款第十六條ニヨリ... 京都染物同業組合 組長 木村勘兵衛...

Table with multiple columns listing members and their affiliations, including names like 友仙染部員, 組長 木村勘兵衛, etc.

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

京都府物産組合月報 (二) 京都府物産組合月報 (三)

一、金五萬圓 設 備 費
右、室内一切、裝飾、電燈、電氣設備、室
内電話、三所陳列場、陳列櫃、標本櫃、保溫裝
置、其他
一、金五萬圓 備 用 具 費
右、椅子、卓子、各種、卓子掛、敷物類、書類
一、金五萬圓 備 用 具 費
右、試驗用諸器具、流體、乾燥機、アンプ、
抽水機、排氣機、ジツカ、ガス、水道其他運
轉設備一切、合計
但、目的の組合員ヲシテ機械工業ノ發達ヲ興
勵シ各員隨意ニ機械ノ試用ヲ許スニテ、其他
ノ試驗ハ勿論ナリ
一、金五萬圓 落 成 式 費
組合員ニ對シテ紀念品費
一、金四萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過
一、金五萬圓 落 成 式 費
右、各員ノ通過

公
1
示

組長 木村

[illegible]

吉田辰之	柿本傳次	石川春	田中春	田中安	青川吉次	阿部竹次	中西鐵次	長田德一	藤原種一	成瀬德太	坂野健太	田中久吉	高木藤之助	人見濤磨	原健	熊谷辰郎	谷村由次郎	松川德也	森本秀吉	上田芳太郎	山田巳之助	宮永正一	佐藤源十郎	松山弘	松浦貞次	服部末次郎	田中伊三郎	前田一郎	徳永淺次郎
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	

吉田辰之
柿本傳次
石川春
田中春
田中安
青川吉次
阿部竹次
中西鐵次
長田德一
藤原種一
成瀬德太
坂野健太
田中久吉
高木藤之助
人見濤磨
原健
熊谷辰郎
谷村由次郎
松川德也
森本秀吉
上田芳太郎
山田巳之助
宮永正一
佐藤源十郎
松山弘
松浦貞次
服部末次郎
田中伊三郎
前田一郎
徳永淺次郎

全 中倉二太郎全 垣内 勇
 報 雜
 〔西陣盛機會對西陣糸染業 西陣織物同業組合に屬する盛機會は御召織の團體なるが時況に連れ營業不振の折衝總會の決議として同會に關係あるものゝ總ての工資は本月より二割減の發表をなしたるに對し西陣糸染業者は染料藥品を使用し織物原料の一部を助成せしむる染物をし、て他の勞働のみを資本とするものと同一に見なし、單に工資として突然同一の取扱をなすは不都合なれば此際工資と染價の區別を明かにし其取扱をなさしむべき希望を以て西陣織物同業組合を介して左の申込をなしたる〕
 一、本年九月西陣織物同業組合盛機會より發表せられたる工資二割は染價以外のものに對するものにして染價に關しては染織業者双方が任意の交渉に依り解決すべき意味に於て更に會員に通告書を發せられんとを希望す
 一、織物業に附隨せる加工業中染色加工料金は他の勞働工資と區別を明かにするため以來染價の名稱の下に取引せられたる事
 一、今後染價を改訂し或は改訂せしめんとする場合は其關係を有する染價各團體の幹部の協議を經へ双方諒解の下に發表する方法を採られんとを望む
 一、染織業者は其關係ある團體毎に斯業改善の目的を以て意見交換に資すべき機關を設置し、たき事
 右の申込みに對して同團體に於ても異議ある者なく賛成の意味を洩らされたるも何れ總會に諮り、陳答する等なり尙糸染業者は本月十六日集會

等ヲ主トシテ試驗シ得タル結果ナリ
處理方法第一工程人造絹糸百匁ニ對シテ下ニ記
スルガ如キ溶フ仕立ヲ此中ニテ攝氏五十度ニ
テ十分乃至二十分間糸ヲ平等ニ繰リ後引上ゲ
其儘糸ヲ垂下シ置キ水ノ切レタルトキ次ノ工
程ニ移ルベシ
カセイン二十四匁精油六匁結晶炭酸青連四
十八匁椰子油十八匁乃至二十四匁水一升二
合五勺
第二工程結晶油石酸二十四匁水一升二合五勺
ヲ以テ溶フ仕立ヲ加熱ヲ施スナクテ五分乃至
十分間平等ニ糸ヲ繰リ後水洗スルヲナク其儘
糸ヲ垂下シ水ヲ切リ乾燥ス
處理方法第二工程此物ハ化學上組織維ニ
近キ動物性蛋白質ニシテ水ニハ不溶性ナレ
ドモ「アルカリ」ニ能ク溶解シ其溶液中ニ酸ヲ
加フルハ再び凝固折出ス而シテ此凝固「カ
セイン」ハ白色不透明ニシテ膠着性強ク且熱
湯ニ會フモ溶解スル事ナク又此物ヲ糸ニ附着
セシメ色染スルモ染料ノ糸ニ染着スル事ヲ阻
止スル事ナリ如上ノ性質アルヲ以テ天然絹糸ニ
近キ性質ヲ有スル水ニ不溶性ニシテ乾燥後
脱落スル事ナキ白色物質ヲ纖維上ニ固着シ得
ルヲ以テ白糸ニ應用シ得ルハ勿論夫ヲ色糸ト
モナスヲ得ベシ而シテ此「カセイン」ヲ用ル最
主要ナル目的ハ凝固物ノ附着ニ伴ヒ其量ニ應
ジテ人造絹糸ノ表面幾分粗粒ノモノトセラル
ハ以テ鳴ヲニ對スル重要ナル素因ヲ作ルト
共ニ纖維ノ光澤ヲ減退セシメントスルニヤ
結晶炭酸ソーダハ二種ノ目的ニ使用セラル即
チ「カセイン」ノ溶解劑トシ用ヒ他方一般
ノ油類ハ水ニ溶解シ得ザルモ炭酸ソーダト共
ニスルベキ乳色ノ所謂「エマルシヨ」ヲ作リ
水ニ能ク溶解スルモノトナルヲ以テ椰子油精
油等ノ溶解劑トシテ用ヒタル椰子油精油モ亦
二種ノ目的ニ供セラル即チ主要ナル用途ハ實
驗ニ微スルニ鳴ヲノ發生ニ對シテ油類ノ少量
ニ存在スルヲ必要條件トナスヲ以テ此目的ニ
供シ他方之油類ハ糸ニ柔軟性ヲ附着シ得ル
モノナルヲ以テ「カセイン」處理ニ依テ糸ノ多
少ニ應ジテ用ヒタル椰子油精油等

合系ノ柔軟性ナキヲ從フテ必要ニ應ジ此兩者
間ノ分量ハ變ズルヲ可ナリトス 酒石酸之レ亦
二種ノ作用ヲ有ス即チ主要ナル用途ハ鳴ヲノ
發生ニ對シ最も重要素因タル酸分ヲ供給スル
ニヤリテ他方系中ノ「カセイン」溶液ノ凝固定
着並ニ油分ヲ再ビ水ニ不溶性ナラシムルノ
目的ニ供セラル不揮發性ノ酸ナルヲ以テ長ク
鳴ヲヲ保持セシメ得ベシ各藥品ノ性質用途上
記ノ如クナルヲ以テ第一工程ハ專ラ必要藥品
ヲ纖維中ニ吸收セシムルニヤリテ第二工程ハ
吸收セラルレシ藥品ヲ纖維ニ充分固着セシムル
モノナルト同時ニ鳴ヲニ對シ最も重要ナル素
因ヲ與フルモノナリトス
施工注意「カセイン」ノ解法ハ先粉末「カセ
イン」ニ少量ノ湯ヲ注ギ能ク攪合セ充分膨脹シ
一様ノ糊狀トナリタルハ豫メ炭酸ソーダヲ溶
解シタル湯ヲ加ヘ全ク粒狀物ナキニ至ル迄加
熱溶解セシムルベシ椰子油精油等ハ豫メ炭酸
「ソーダ」ノ熱溶液少量ト共ニ白色乳狀液ヲ
作リ之ヲ「カセイン」溶液中ニ加フベシ
色糸ハ染色後此處理ヲ行フハ染色スルノ虞
レアルヲ以テ豫メ白糸ノハニ處理ヲ行ヒ然ハ
後色染スルヲ可トス而テ色染前處理糸ヲ一度
水ニテ能ク洗ヒ酸分ヲ除去スルヲ要シ色染後
再び將ニ示シタル處理法ノ如ク酒石酸溶液中ニ
テ處理スベシ一回處理シタル糸ヲ充分水洗シ
再び殘溶ヲ其儘使用シ處理ヲ繰返スルハ其結
果更ニ良好ナリ
右ハ農商務省絹業試驗所ノ報告ニ依ル
東京都府工場衛生會々々 是左の如く改正せら
れ發表したり

第一章 總 則
第一條 本會は京都府工場衛生會と稱す
第二條 本會は工場衛生の改善進歩を圖リ其の
從業者の健康保全を期するを以て目的とす
第三條 本會は前條の目的を達する爲研究會協
議會を開き或は講演會を催す等工場衛生上必
要なる事項の施設をなすものとす
第四條 本會事務所は當分京都府廳工場課内に
置く

第二章 會員及役員

友仙染器具一切
 建築請負
 本店 瀧澤商店
 工場
 下京區岩上通錦小路上ル
 同千本通二筋西綾小路下ル
 價安別特

各部役員異動 染部長田中富之助氏辭任... 伊吹氏ヨリ致スル返書... 九月十七日 河合忠次郎拜

伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜... 伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜

伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜... 伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜

伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜... 伊吹氏ヨリ致スル返書 九月十七日 河合忠次郎拜